

2022 年 12 月 13 日

## 2022 年 11 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

### <印刷用紙 A>

平判は仕事量の減少もあり全体的に低調な動きで推移した。要因として値上げに伴う大口案件の減少が目立ち前年を下回った。

巻取は生損保、金融、チラシ関連に動きがみられ前年並みに推移した。

（前年比 平判 94.3% 巻取 100.2%）

再生紙平判は相変わらず入札案件の減少に加え、在庫不足や案件失注が目立ち前年を大幅に下回った。

再生紙巻取は前月に引続き大口案件の受注があり前年を大幅に上回った。

（前年比 再生上質平判 70.3% 再生上質巻取 227.0% 再生上質計 112.0%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 95.2%）

（2019 年比 印刷用紙 A 計 83.0%）

### <A2 コート>

平判は行動制限解除に伴う国内旅行の需要と入国制限緩和及び解除によるインバウンド需要の拡大が続いているが、旅行パンフや飲食店、観光地チラシの需要に一服感がみられる。雑誌ではページ数減少の動きが進んでおり全体的に動きが鈍く、マットは前年を下回った。

巻取は通販、食品デリバリーで一部動きがみられたが、不動産チラシの落ち込みがみられる。また、定期雑誌においては落ち込みが続いておりグロス、マット共に大幅に前年を下回った。

（前年比 平判 100.0% 巻取 87.5% 全体 97.3%）

（2019 年比 A2 コート計 81.1%）

### <A3 コート>

旅行、食品スーパー、ドラッグストア、イベントのスポットチラシ案件で動きがみられたが、平判、巻取共に前年を下回った。

（前年比 平判 97.6% 巻取 98.0% 全体 97.9%）

（2019 年比 A3 コート計 77.8%）

### <ノーカーボン紙>

平判は価格修正前の仮需の反動で大幅に落ち込んだ。巻取は共済や生保帳票の動きもあり前年を若干上回った。

（前年比 平判 75.0% 巻取 101.2%）

#### ＜上質フォーム＞

システム系パッケージ帳票は電子化の流れで減少傾向だが、給付金などの通知物や株主議決権案件が堅調に動き前年を若干上回った。

（前年比 101.0%）

#### ＜包装用紙＞

特殊両更は特殊法人向け大口入札案件があったものの全体の荷動きは振るわず前年を下回った。

（前年比 90.3%）

軽包装は雑包装用途の動きが堅調で前年とほぼ同等の動きとなった。

（前年比 102.7%）

両更晒は通信会社向け、生命保険会社向け封筒の動きが堅調に推移し前年とほぼ同等の動きとなった。

（前年比 101.3%）

純白ロールは大型ショッピングモール向けの包装紙や年賀向けの包装紙に動きがみられ前年を大きく上回った。

（前年比 121.8%）

包装紙全体でも 107.5%と前年を上回った。

#### ＜板紙＞

コートボールは土産需要が回復傾向にあり食品、菓子、日用品向けも安定していた。

高板は出版、商印向けが依然低調なものの、トレーディングカードには動きがみられた。

特板はテイクアウト需要が減少するも土産物、冷凍食品、化粧品向けは好調であった。

チップボールは児童本の出版向けが低調でエンタメ向けにも動きがみられず軒並み低調であった。

全体では行動制限緩和による人流増加の影響で前年を大きく上回った。

（前年比 121.2%）